

平成23年度年間授業計画(第4学年算数)

月	学習内容(単元)		年間学習目標
4	・大きい数のしくみ ・角の大きさ ・わり算の筆算(1) ・垂直・平行と四角形 ・折れ線グラフ ・そろばん ・小数のしくみ ・わり算の筆算(2)		【算数への関心・意欲・態度】 知識や技能などの有用さ及び数量や図形の性質や関係を調べたり筋道を立てて考えたりすることのよさに気づき、進んで生活に生かそうとする。 【数学的な考え方】 算数的活動を通して、数学的な考え方の基礎を身に付け、事象について見通しをもち筋道を立てて考える。 【数量や図形についての表現・処理】 整数や小数の計算が確実にでき、それらを用いるとともに図形の面積を求めたり、図形を作図したり、数量の関係など表したり調べたりする。 【数量や図形についての知識・理解】 数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、小数分数の意味と表し方、面積の意味、基本的な図形の意味及び数量の関係の表し方や調べ方を理解している。
5			
6			
7			
9			
10	・整理のしかた ・計算のきまり ・面積のはかり方と表し方 ・分数 ・変わり方調べ ・がい数の表し方 ・小数のかけ算とわり算 ・直方体と立方体 ・4年のまとめ		
11			
12			
1			
2			
3			
年間授業時数		175	
授業の工夫	○ 子どもたちが主体的に問題に取り組めるよう、身近な問題を取り上げ、興味関心をもって取り組めるように授業を工夫する。 ○ ドリル学習を取り入れ計算力の習熟を図る。 - 多様な考え方ができる問題については、多くの児童の考え方を生かして、集団解決をする。		
評価について	○ 単元ごとのテストだけでなく、平素のプリントやノート、学習中の態度や発表などで評価する。		
学習方法 (家庭学習) など	○ ドリル練習としての宿題は、ほぼ毎日出す。授業内容の確実な定着を図るとともに、家庭学習の習慣化を図るために行う。家庭の協力を求める。		